



令和4年度 高校一日体験入学

2022/7/29

全体資料
1 日程、諸連絡
2 学校・学科紹介及び入学者選抜について
3 本校代表生徒説明
4 体験授業講座一覧
5 校舎配置図
該当者のみ（別冊）
1 寮説明会資料
2 トップアスリート系列 2023
※体験入学終了後アンケート
【回収場所】
中学生…体験授業、実技体験会場の担当者
保護者、引率者…アリーナ1入口の回収ボックス または体験授業、実技体験会場の担当者

福島県立ふたば未来学園高等学校

本 校 舎 : 〒979-0408 福島県双葉郡広野町中央台一丁目6番地3
TEL 0240(23)6825
<https://futabamiraigakuen-h.fcs.ed.jp/>
三島長陵校舎 : 〒411-0033 静岡県三島市文教町1-3-93
静岡県立三島長陵高等学校内
TEL 055(986)2000

令和4年度ふたば未来学園高校一日体験入学日程

【午前の部】

アカデミック系列・スペシャリスト系列

受付（アリーナ1入口）		9:00～ 9:30
全体説明 【オンライン同時配信】	①学校長あいさつ ②学校・学科紹介及び入学者選抜方法説明 ③本校代表生徒発表 ・探究活動 ・海外研修 ・生徒会代表 等 ④諸連絡	9:30～10:30
移動・休憩		10:30～10:40
体験授業（45分）アカデミック系列希望者		10:40～11:25
実習授業（60分）スペシャリスト系列希望者		10:40～11:40
進学相談※1（協働学習ルーム）		10:40～13:30
寮説明会（アリーナ1）		12:10～12:40

【午後の部】

アカデミック系列・スペシャリスト系列、トップアスリート系列

受付（アリーナ1入口）		13:00～13:30
寮説明会（アリーナ1）		12:10～12:40
全体説明 【オンライン同時配信】	①学校長あいさつ ②学校・学科紹介及び入学者選抜方法説明 ③本校代表生徒発表 ・探究活動 ・海外研修 ・生徒会代表 等 ④諸連絡	13:30～14:30
移動・休憩（着替え後移動）		14:30～14:40
体験授業（45分）アカデミック系列希望者		14:40～15:25
実習授業（60分）スペシャリスト系列希望者		14:40～15:40
実技体験（各実技会場）トップアスリート系列希望者		15:00～16:30
進学相談※1（協働学習ルーム）		15:00～16:30

※1 進学相談においては各系列の選択についてもお相談いただけます。積極的にご利用ください。

※2 保護者・引率教員は、校内施設及び体験授業を見学いただけますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止予防として立ち入りを禁止する場所への立ち入りをご遠慮ください。

諸連絡

【体験入学に参加するにあたって】

- 体験入学時間帯はマスクの着用をお願いいたします。ただし、体験授業等では、担当教員の指示に従ってください。
- 各講座で使用する教室以外への立ち入りはご遠慮ください。
- トイレは指定された場所のみの使用をお願いいたします。
- 体調不良になった場合は、すぐにお近くの職員にお知らせください。
- 駐車場からの車の出し入れについては、くれぐれも事故のないようお気をつけください。
- 駐車場付近では、職員の誘導に従ってください（所定の区域以外の駐車・乗り入れはしないでください。）。
- 生徒の皆さんは、体験授業終了後にアンケートを記入し、担当職員に提出してください。引率者・保護者の皆様はアリーナ入り口にアンケート回収ボックスが置いてありますので、アンケートの記入にご協力ください。

【トップアスリート系列の参加者の皆さんへ】

(1) 更衣室について

野球：選択7

男子サッカー：選択8

女子サッカー：アリーナ2階シャワー室

※野球、男子サッカーに参加する生徒は、着替えたら荷物を持って移動になります。担当職員の誘導に従ってください。

※女子サッカーに参加する生徒で、体験授業後そのまま帰宅する場合は、荷物をもって会場に移動してください。体験授業終了後着替えが必要な方は担当職員に申し出てください。

(2) 実技会場について

野球：本校野球場

男子サッカー：ふたば未来学園サッカーグラウンド

女子サッカー：広野町多目的運動場

令和4年度ふたば未来学園高等学校1日体験入学 体験授業講座一覧

【アカデミック系列】午 前 10:40～11:25 (45分間)

午 後 14:40～15:25 (45分間)

教科・科目	内 容	場 所
社 会	ウクライナを例に戦争について考えよう	選択11
数 学	中学数学で大学入学共通テストにチャレンジ!!	選択10
英 語	Learning SDGs in English	選択12

【トップアスリート系列】午 後 15:00～16:30

教科・科目	内 容	場 所
スポーツⅡ 野 球	野球の実技体験	野球場
スポーツⅡ 男子サッカー	サッカーの実技体験	ふたば未来学園 サッカーグラウンド
スポーツⅡ 女子サッカー	サッカーの実技体験	広野町 多目的運動場

【スペシャリスト系列】午 前 10:40～11:40 (60分間)

午 後 14:40～15:40 (60分間)

教科・科目	内 容		場 所
農 業①	ハーバリウム作り	30分でローテーション	農学・生物実験室
農 業②	ケーキの製造体験		食品加工室
工 業①	VR体験! ロボ制御		工学加工実習室
工 業②	手上げ作業 記念プレートをつくる		工学加工実習室
商 業	「caféふう」へようこそ ふうスペシャルを作って販売体験		地域協働スペース
福 祉	ポッチャを体験しよう		介護福祉実習室

※ 全体会終了後、アカデミック系列・トップアスリート系列・スペシャリスト系列に分かれて体験授業を行います。係の生徒、職員が誘導いたしますので、しばらくお待ちください。

未来の「変革者」たち

- ・ 知識基盤社会、グローバル化、少子高齢化が進行した社会で、自由で豊かな人生の実現。
- ・ 集中から分散へ。画一から多様性へ。 ・ 人権が尊重された平和な社会の実現。
- ・ 若者の力を生かした地域、コミュニティの真の自立。 ・ 循環型の、持続可能な社会の実現。

イノベーションによる新たな産業の創造 | 新たなまちづくり | 地域再生のモデルを世界に発信

教育目標

新しい生き方、新しい社会の建設を目指し、地域や世界を舞台にして、これまでの価値観、社会のあり方を根本から見直し、自らを変革し、地域を変革し、社会を変革していく「変革者」を育成する。

育成する資質・能力

- どんな困難な問題に対しても、論理的思考力、課題発見・解決力、強い志と使命感を持って、何度失敗しても挑戦し続ける「主体性」
- 異なる言語、文化、価値観を乗り越えて多様な主体と共に力を合わせる「協働性」
- 新しい生き方、産業、社会をつくりだしていく「創造性」
→知識、スキル（知識をどう使うか）、人格（社会とどう関わるか）、メタ認知（自らを振り返り変えていく力）という4つの学力概念ごとにまとめたルーブリックをもとに育成

令和4年度の重点目標

一人一人の生徒が輝く教育実践・共生社会で活躍できる人材育成・安全に安心して学べる環境整備

変革のための3つの理念と取組

1 「自立」～自主・自律と、主体性の回復

- 知識詰め込みから脱却し、自ら学ぶ力を育成する「主体的な学び」
→学ぶ意欲を育み、考える力を伸ばす授業
→解のない課題への挑戦を後押しする授業
- 学力向上
→英数国の習熟度別指導、中高教員によるティームティーチング、授業時数増、先取り学習による高い学力の育成
→「みらいラボ」での放課後学習支援
- キャリア学習、進路実現
→系統的なキャリア学習による進路意識の啓発・深化と、早期からの小論文指導等
→国公立大学等進学、資格取得支援
- 生徒指導、教育相談体制の充実
→カウンセリングの充実、寮生活などを通じた基本的な生活習慣、社会性の育成

2 「協働」～多様性の中での対話と協働

- 多様な主体との連携・協働による「対話的な学び」
→「哲学対話」、「協働学習」など「対話的な学び」。
→双葉郡小中学校等との連携・交流
→総合学習や「みらいラボ」、カフェでの地域住民や企業、NPO等との交流・協働
- 価値観や文化の違いを超えて共に生きる力の育成
→演劇の授業によるコミュニケーション力の育成
→生徒会及び寮における自治活動の充実
- グローバル・シティズンシップの育成
→グローバルな課題に向き合う海外研修（高はアメリカ、ドイツ等。中はニュージーランド）
→中学「グローバル・スタディ科」で実践的な英語力伸長、英検準2級以上取得を目標

3 「創造」～新たな価値、生き方、社会の創造

- 各教科と探究の往還による、知識を生きて働くものとする「深い学び」
→他者と関わりながら対象世界を深く学び、自分のこれまでの知識や経験と結びつけ、概念的理解が深まったり、生き方につなげていけるような「深い学び」
- 震災と原発事故から学び、教訓を生かした、新たな生き方の創造
→被災・避難者の声に耳を傾け、震災と原発事故の教訓、双葉郡・福島の問題をとらえ、福島を生きる者として分断や対立を乗り越え「いかに生きるか」を考察
- グローバル化や少子高齢化・人口減少が進行した社会、知識基盤社会における新たな地域、社会、文化の創造
→ふるさとの「ひと・もの・こと」や課題と向き合う「未来創造学」（中）
→原子力防災、再生可能エネルギー等の課題を探究し、グローバルな視点からの地域課題の解決及び地域再生を実践する「未来創造探究」（ゼミ形式の探究学習）（高）
→全国、世界を舞台として活躍し、スポーツを通じて社会に貢献する真のアスリート育成
→新たな地域、社会づくりを支える、演劇・音楽など芸術や文化の創造
- イノベーションにつながる新たな価値の創造
→復興をこえた地域再生を進めるイノベーションにつながる創造性の育成
→スペシャリスト系列の授業などでの、新たな商品開発や地域課題への挑戦
→「リダー学」（中）、中高での各界の第一人者による授業等「本物」との出会い

教育復興応援団、支援する会、学校支援地域本部、国際機関・国・大学・企業等、みらいラボ

ふたば未来学園では、各教科でのアクティブラーニングと、地域課題解決の探究学習(プロジェクト)とを往還させる深い学びによって、地域や社会を変革する「変革者」を育成します。また、海外の同世代とのオンライン交流を頻繁に行うほか、代表生徒がニューヨーク・国連本部や環境先進国ドイツを訪問し、同世代と持続可能な世界の実現についてディスカッションを行い、世界で活躍できる力を育成します。自分の興味・関心や進路希望に応じて系列を選択し、各系列の科目群より、幅広い分野の選択科目を選択することができます。

※ 中高一貫一期生の高校入学を踏まえ、令和4年度からより一層各系列の特色を強化するとともに、系列別の学級編制となります。入学後の系列変更はできません。
※ 本校は文部科学省よりSGH(スーパーグローバルハイスクール)ネットワーク校、地域との協働による高等学校教育改革推進事業(グローバル型)に指定されています。

ACADEMIC アカデミック系列



「未来創造探究(総合的な探究の時間)」での課題解決学習と、各教科の往還による深い学びを通して、高い学力、実践的英語力も含めた様々なスキル、人間性を身につけ、海外大学や国公立・私立難関大学への進学を経て「変革者」として社会を牽引するリーダーを育成します。

- 大学入試改革本格実施に先回りして対応した週5日7校時授業、進路希望に応じた科目選択
- 英数国の完全習熟度別指導や、高い学力集団での切磋琢磨で、国公立大入試に対応できる学力を授業で身につける
- 探究活動と教科の往還による実践的な課題解決力等の育成

TOP ATHLETE トップアスリート系列



双葉地区未来創造型リーダー育成構想※が掲げる「真の国際人として社会をリードする人材の育成」を目指し、充実した環境のもと授業トレーニング等で競技力とリーダーシップを育成し、競技力を生かして自らの進路を切り拓き、トップアスリートや生涯スポーツ社会のリーダーとして社会を牽引する人材を育成します。

- 充実した育成環境でのバドミントン、レスリング、男女サッカー、野球の授業トレーニング
- 未来創造探究(総合学習)等で、スポーツを通じて自ら地域課題を解決できる力を育成

※ 「真の国際人として社会をリードする人材の育成」を基本目標とする、関係団体(県、双葉郡各町村、日本サッカー協会等の競技団体、大学等)の連携により平成18年度にスタートした人材育成プログラム。

SPECIALIST スペシャリスト系列



Agriculture 農業

農業に関する専門的な科目を中心に実践的・体験的な学習活動を通じて、栽培から加工・販売まで幅広く総合的に学びます。農業や食に関連する産業への就職や大学農業系学部や専門学校への進学等の進路を実現し、地域課題と真剣に向き合い、将来的に多岐にわたり地域に貢献できる人材を育成します。

- 他校ではできない、農業に関する専門的な科目を、栽培から加工・販売まで幅広く学ぶ
- 企業と連携した菓子開発、校内のcaféふうを活用した販売など、徹底的に地域と連携した実践



Industry 工業

電気、機械等の幅広い分野を学び、ものづくりや再生可能エネルギーの基礎的な知識・技能を身につけ、消費者視点のものづくりや課題解決を実践します。製造業やエネルギー関連施設への就職や上級学校進学等の進路を実現し、異なる専門分野と協働しながら地域や社会の課題を解決できる人材を育成します。

- 総合学科の特色を生かした他系列との協働による消費者視点のものづくりや課題解決を実践
- 学校設定科目「地域エネルギー」等で再生可能エネルギーによる街づくりに貢献できる力を育成



Business 商業

商業に関する専門知識の学習や、簿記・会計等の資格取得に取り組むとともに、校内のcaféふうや実社会でのソーシャルビジネスの視点を取り入れた商品開発や販売の実践を通じて学びます。実践力とスキルを生かして地域の企業に就職し、地域をフィールドに福島の復興に繋がるビジネスの創造に貢献できる人材を育成します。

- 会計、マーケティング、情報の各分野の基礎知識の習得や、簿記、ビジネス計算の資格取得
- 企業との協働や、校内のCaféふうを生かした実社会での実践を通じた学び



Care and Welfare 福祉

福祉に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得する学習や、地域の介護施設などと連携した実践的な実習を行うとともに、資格取得や介護職員養成研修などを受講・修了します。介護職としての就職や、介護福祉関係の上級学校進学等の進路を実現し、高齢化が進む地域社会の諸課題に向き合い、福祉の視点で課題解決に貢献していく人材を育成します。

- 生活援助従事者研修(2年次)や介護職員初任者研修(3年次)を受講・修了
- 共助による健康長寿の地域コミュニティを実現する課題解決学習

令和3年度の進路状況（令和4年3月卒業）

（国公立大学）

学校名	人数
北見工業大学	1
福島大学	1
宇都宮大学	1
埼玉大学	1
東京外国語大学	1
長崎大学	1
鹿屋体育大学	1
都留文科大学	1

（私立大学）

学校名	人数
北翔大学	1
仙台大学	2
東北福祉大学	1
医療創生大学	2
東日本国際大学	2
常磐大学	1
流通経済大学	2
文星芸術大学	1
上武大学	1
駿河台大学	1
東京国際大学	1
日本工業大学	1
文教大学	1
目白大学	1
平成国際大学	1
国際武道大学	1
城西国際大学	1
千葉工業大学	1
千葉商科大学	2

（私立大学）

学校名	人数
青山学院大学	3
桜美林大学	1
順天堂大学	1
専修大学	3
大東文化大学	1
高千穂大学	1
中央大学	1
津田塾大学	1
東洋大学	2
日本体育大学	3
武蔵野大学	1
明治大学	1
明星大学	1
立教大学	2
早稲田大学	1
東京未来大学	1
東京保健医療専門職大学	1
神奈川大学	3
神奈川工科大学	1
関東学院大学	1
産業能率大学	1
桐蔭横浜大学	1
桐蔭横浜大学	1
新潟医療福祉大学	1
山梨学院大学	1

（短期大学）

学校名	人数
いわき短期大学	1
仙台青葉学院短期大学	1
郡山女子大学短期大学部	1

（専門学校）

学校名	人数
水戸メディカルカレッジ	1
仙台保健福祉専門学校	1
郡山健康科学専門学校	2
福島医療専門学校	1
太田医療技術専門学校	1
東日本医療専門学校	1
松村看護専門学校	1
仙台スイーツ&カフェ専門学校	1
東京スイーツ&カフェ専門学校	1
日本調理技術専門学校	2
仙台ウェディング&ブライダル専門学校	1
いわき准看護学校	1
国際情報工科自動車大学校	3
いわきコンピュータカレッジ	1
国際ペット総合専門学校	1
福島県農業総合センター農業短期大学校	1
仙台ビューティーアート専門学校	3
日本美容専門学校	1
原宿ベルエポック美容専門学校	1
ユニバーサルビューティカレッジ	1
日本ホテルスクール	1
文化服装学院	1
仙台リゾート&スポーツ専門学校	1
東京スポーツ・レクリエーション専門学校	1
東京俳優・映画&放送専門学校	1
日本芸術専門学校	1
ケイセンビジネス公務員カレッジ	1
仙台総合ビジネス公務員専門学校	1

（就職等）

企業等名	人数
(株) エイブル	1
ひろのプログレス 合同会社	1
(株)メイコーFBセンター(福島工場)	1
あぶくま信用金庫	1
東京電力ホールディングス(株)	1
Trinity Project (株)	1
福島さくら農業協同組合	1
(株) 成進	1
社会福祉法人 五彩会	1
(株) ゆいのさと駒込	1
日産自動車 (株)	1
社会福祉法人 五彩会	1
(株) マルト	1
(株) ハニーズ	1
(株) 吹の湯旅館	1
(株) アイリスプロダクト	1
(株) ホッコー産業	1
佐藤建装工業(株)	1
扇屋商事(株)	1
トヨタ自動車東日本(株)	1
トヨタ自動車(株)	1
ブレンティグローバルリンク(株)	1
(株)山陰合同銀行	1
日本ユニシス(株)	1
東日本電信電話(株)	1
浦和レッズレディース	1
長野パルセイロレディース	1
水戸ホーリーホック	1

令和5年度入学者選抜における選抜方法の一部変更について

ふたば未来学園高校では、本校で学びたいと強く考えている生徒を求めており、高校での学びに必要な資質・能力を適切に把握するとともに、入学後の学習に合わせた高校入試とするため、選抜方法の一部を変更します。

主な 変更点	・前期選抜の特色選抜枠を45%に増やし、「スペシャリスト型」を設けた。 ・調査書配点を5教科以外2倍して250満点で統一し、実技の配点を増やした。
-----------	--

		学力検査	調査書	面接	実技	合計	
前期 選抜 45%	特色 選抜	トップアスリート型	250	250	段階評価	300	800
		スペシャリスト型	250	250	150		650
		一般選抜	250	250	段階評価	トップアスリートのみ 実技を段階評価	
連携型 選抜 30%		アカデミック系列希望	250	250	段階評価		500
		トップアスリート系列希望	250	250	段階評価	300	800
		スペシャリスト系列希望	250	250	150		650

※ 網掛けが変更部分で、選抜方法の詳細は以下の資料（県教委WEB掲載）参照。

令和5年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
72	福島県立ふたば未来学園高等学校	全日制

【前期選抜】

特色選抜

大学科 小学科	募集 定員枠	志願してほしい生徒像
総合学科	45% 程度	本校は、校訓「自立」「協働」「創造」のもと、「アカデミック系列」「トップアスリート系列」「スペシャリスト系列」の3系列を設置して、自らを 変革し、地域を変革し、社会を変革していく「変革者」の育成を目指しており、本校で学びたいと強く考える生徒を求めている。 特色選抜においては、以下の「トップアスリート型」「スペシャリスト型」のいずれかに該当する生徒を求める。 ・トップアスリート型：対象とするいずれかの競技種目で顕著な競技実績または高い能力を有し、その競技力を生かして自らの進路を切り拓き、トップ アスリートや生涯スポーツ社会のリーダーとして社会を牽引しようとする者。 ○ 対象競技種目：サッカー（男女） 野球（男） レスリング（男女） バドミントン（男女） ・スペシャリスト型：農業、工業、商業、福祉のいずれかの分野を学ぶ強い意欲があり、将来、地域や社会で活躍しようとする者。

選 抜 資 料

学 力 検 査	特色選抜志願理由書	調 査 書	特 色 面 接	特 色 検 査	選抜資料の満点	備 考
5教科とする。 学力検査の満点を250 点とする。	本校への志願動機及び入学後の希望系列、将来への抱負・進路希望、その実現のためどのような高校生活を送りたいか等について本人が記入する。 また、大会・コンクールの実績等について、具体的かつ正確に記入する。	「各教科の学習の記録」は傾斜配点を実施し、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の教科の評定を2倍して、195点満点とする。「特別活動等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。	個人面接を実施する。 面接では、地域や世界で活躍しようとする意欲や本校で学ぶ適性等について確認する。 トップアスリート型の面接は段階評価とする。 スペシャリスト型の面接は点数化し、150点満点とする。	トップアスリート型については、種目ごとに実技試験を実施する。 実技試験では、各種技能や基本的な身体能力を確認する。実技試験は点数化し、300点満点とする。 スペシャリスト型については、特色検査を実施しない。	全体の満点は、トップアスリート型が800点、スペシャリスト型が650点とする。	

令和5年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
72	福島県立ふたば未来学園高等学校	全日制

一般選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	一 般 面 接		
総合学科	(160)	5教科とする。 学力検査の満点を250点とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。	個人面接を実施する。 面接では、地域や世界で活躍しようとする意欲や本校で学ぶ適性等について確認する。 面接については、段階評価とする。 トップアスリート系列を希望する者には、種目ごとに実技試験を実施する。実技試験では、各種技能や基本的な身体能力を確認する。 競技種目は、特色選抜のトップアスリート型と同様とする。 実技試験については、段階評価とする。	同等とする。	

【後期選抜】

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
総合学科	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計190点満点とする。	個人面接を実施する。 面接では、本校で学ぶ適性等について確認する。 面接については、段階評価とする。 トップアスリート系列を希望する者には、種目ごとに実技試験を実施する。実技試験では、各種技能や基本的な身体能力を確認する。 競技種目は、特色選抜のトップアスリート型と同様とする。 実技試験については、段階評価とする。	思考力、判断力、表現力等を問う小論文を実施する。字数は400字程度とする。 小論文は点数化し、50点満点とする。	

令和5年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

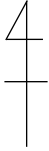
別紙2

【調査票】

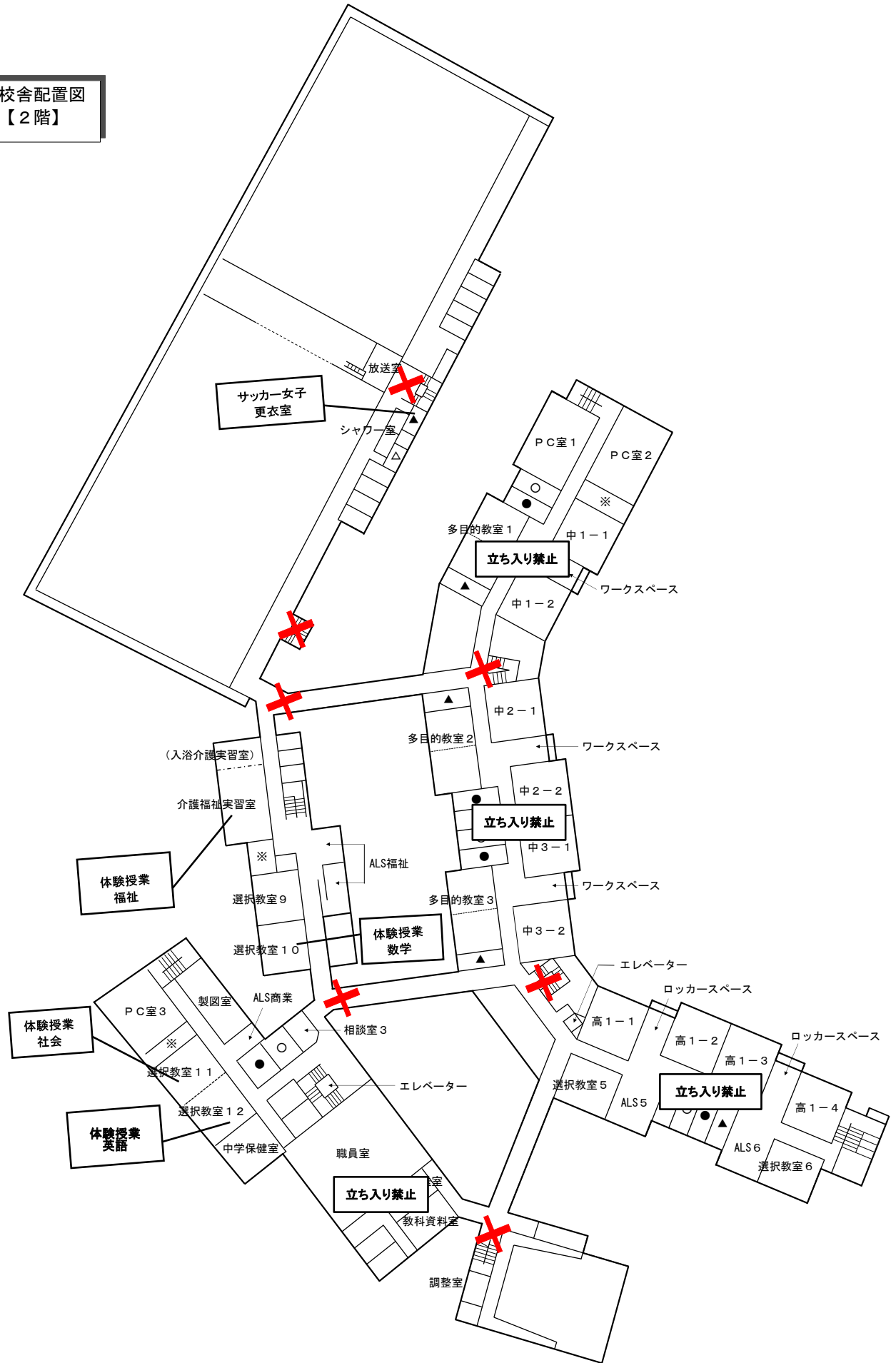
学校番号	学校名	課程
72	福島県立ふたば未来学園高等学校	全日制

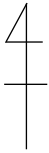
【連携型選抜】

大学科 小学科	募 集 定 員 枠	選 抜 資 料					備 考
		学 力 検 査	調 査 書	連 携 型 面 接	連 携 型 検 査	選 抜 資 料 の 満 点	
総合学科	30% 程度	5教科とする。 学力検査の満点を250点とする。	「各教科の学習の記録」は傾斜配点を実施し、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の教科の評定を2倍して、195点満点とする。「特別活動等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。	個人面接を実施する。 面接では、地域や世界で活躍しようとする意欲や本校で学ぶ適性等について確認する。 アカデミック系列及びトップアスリート系列を希望する者の面接は段階評価とする。 スペシャリスト系列を希望する者の面接は点数化し、150点満点とする。 ※志願理由書を提出する。 志願理由書には、本校への志望動機及び入学後の希望系列、将来への抱負・進路希望、その実現のためどのような高校生活を送りたいか等について本人が記入する。 また、大会・コンクールの実績等について、具体的かつ正確に記入する。	トップアスリート系列を希望する者には、種目ごとに実技試験を実施する。実技試験では、各種技能や基本的な身体能力を確認する。 競技種目は、特色選抜のトップアスリート型と同様とする。 実技試験は点数化し、300点満点とする。 ただし、JFAアカデミー福島に該当する者は、実技試験を免除する。	全体の満点は、アカデミック系列の希望者が500点、トップアスリート系列の希望者が800点、スペシャリスト系列の希望者が650点とする。	

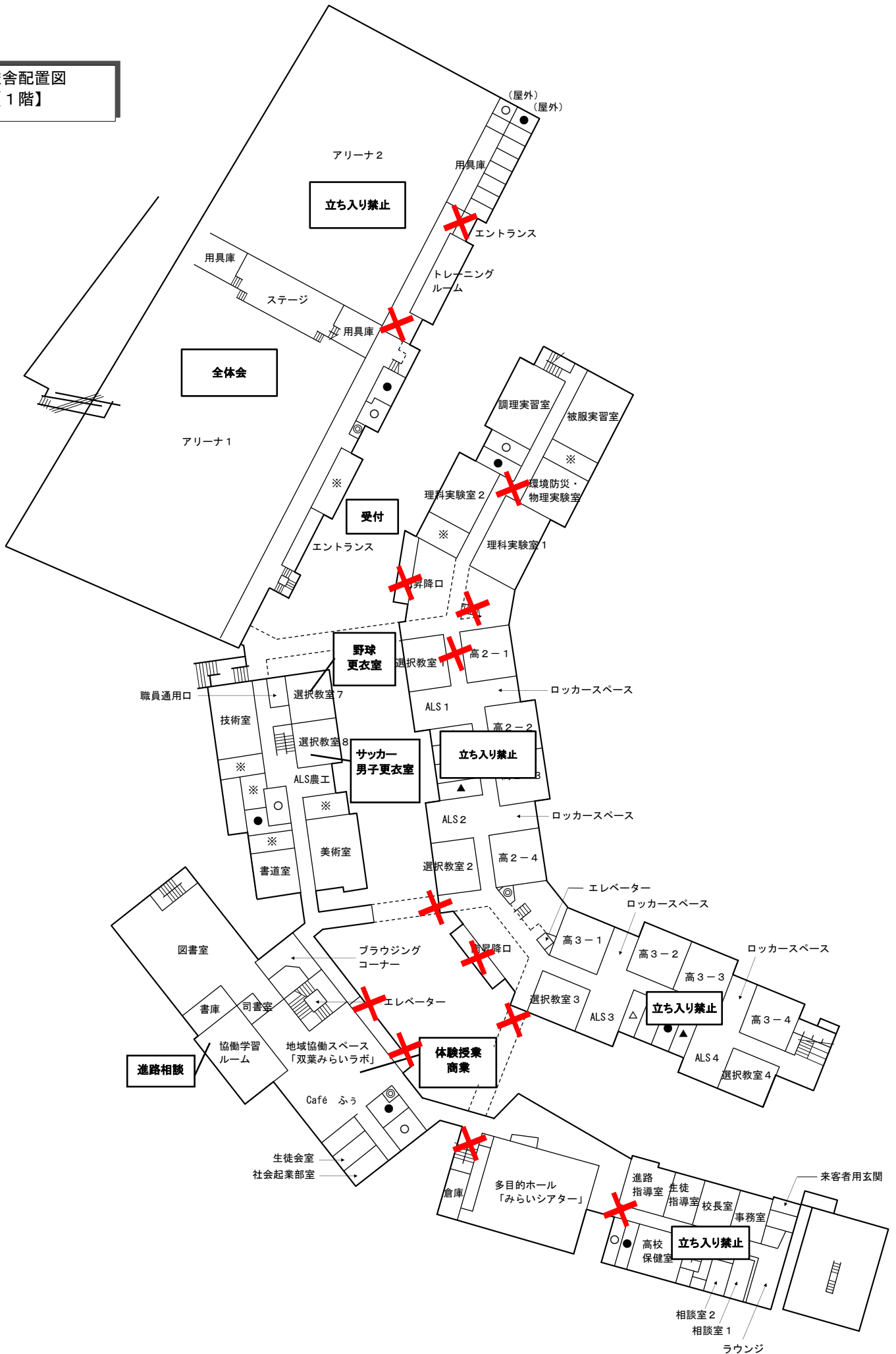


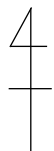
校舎配置図
【2階】





校舎配置図
【1階】





校舎配置図
【B1階】

